

幸手市立吉田小学校 学力保障グランドデザイン

学校教育目標

みんなと仲良くする子
こつこつ勉強する子
しっかり運動する子

学校研修課題

「思考力・判断力・表現力を高めるための
指導法の研究」

本年度の重点

- 1 吉田地区の未来を担う子供を育てる学校
- 2 思考力・判断力・表現力の育成
- 3 PBL型授業の実践
- 4 家庭学習・読書活動の充実

目標達成の指針

- 1 特色ある教育活動（地域人材の活用、体験活動等）
- 2 全国及び埼玉県学力学習状況調査、幸手市統一テスト
- 3 新体力テスト
- 4 PBL型授業の実践による「わかる授業」
- 5 家庭学習及び読書の量、質の向上

未来の吉田地区を、幸手市を担う子供たちの可能性を開花させます。

学校の共通行動



✿ 学習規律の徹底

あいさつ、返事、姿勢、目線、発表に仕方等学習規律を徹底させ、学びの質の向上を目指す。凡事徹底により当たり前のことがしっかりできる人としての資質・能力を育成する。

✿ 基礎基本の確実な定着

「鍛えて育てる」指導を徹底し、基礎基本の定着や学ぶ意欲を向上させ、個に応じた指導の充実を図る。確認のために、漢字・計算大会やスキルアップチャレンジを実施する。

✿ 思考力・判断力・表現力の育成

授業をPBLの視点から構成し、思考力・判断力・表現力の向上を目指す。また、スピーチコンテストを通して表現力の育成を図る。全校読書5000冊、定期的な読み聞かせにより本に触れる機会を充実させる。

✿ 学級経営の充実

一人一人の居場所がある学級経営を目指し、心の安心安全のある環境づくりに努める。「なかよしアンケート」（毎月）を活用した教育相談体制の充実を図る。

授業外での取組



✿ 家庭学習の定着

「家庭学習のしおり」を配布し、学年に応じた学習時間を設定し、基礎基本の定着を徹底する。「アウトメディア」の取組を中心に、家庭での学習時間、スマホ、ゲームの使用時間など生活習慣の見直しを図り、学ぶ意欲の向上へのつなげていく。学習用タブレットを積極的に活用する。

✿ 業前時間の学びの支援

体力向上や基礎基本の定着を図る取組を行っていく。
火曜を除く毎日 朝マラソン
月・金曜日 チャレンジタイム（国語、算数）
水曜日 ハピネスタイム（体力向上）
木曜日 読書、読み聞かせ

✿ 自主的・主体的に学ぶ支援

基礎基本の定着の定着や個々の力を伸ばすために、学習プリント（コバトン問題集等）やドリルパーク（ドリルアプリ）に自主的に取り組めるようにする。

確かな授業実践



✿ わかる授業の実践

幸手スタンダードの実践により、学習課題とまとめ、ふり返しを実践し、わかる授業が展開できるようにする。

✿ 学びの質の向上

教員の専門性や得意分野を活かした、質の高い授業を展開し、児童の興味・関心を高め、学力の向上を目指す。6年間を見通した教育の充実を図る。

✿ 学びあい 高めあい 挑戦する教職員

PBL型授業への授業改善を中心とした校内研修を実施し、授業力の向上を目指す。相互授業参観を通して、学びあい、切磋琢磨しながら教職員の資質向上を図る。

✿ ICTの活用

学習用タブレットを積極的に活用し、授業の質を高め、深い学びの授業を展開する。また、家庭でも活用させることで、個別最適な学びの充実を図る。

家庭・学校間連携



✿ 体験活動の充実

地域人材・資源を活用した体験活動の充実を図り、地域の人々との交流を通してコミュニケーション能力を培うことや新たな学びにより、人生を切り拓くことのできる力を養う。

✿ 学校・家庭・地域の協働

授業参観や学校公開では自校への関心・理解が高まるような内容を工夫し、実施する。保護者と協力をして校舎内外の環境整備に取り組む。積極的に地域と関わり、児童・保護者・地域住民の絆を深める。40周年記念事業を協力して実施する。

✿ 東中校区の取組の充実

学校再編成と9年間の学び・育ちの連続性を重視した小小連携・小中連携の取組を充実する。

- ・学力向上推進委員会
- ・東中学校学校地域保健委員会
- ・東中校区運営協議会
- ・生徒指導連絡協議会